

平成24年度●文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」
「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」

就業力育成 特別教育プログラム

社会人生活に
役立つ力を身につけよう！



前期申込期間

4.1^月 ▶ 5.15^水

後期申込期間

10.1^火 ▶ 10.31^木

平成25年度入学生対象

履修生
募集集中

申込書付

就業力育成特別教育プログラムとは

就業力育成特別教育プログラム（以下「本プログラム」という。）は、社会的自立のために求められる力について、正課教育・正課外教育の双方を通じて身につけていくことを目的とした教育プログラムです。本プログラムは、平成24年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択された事業の一環として実施しています。

なお、現在2011・2012年度入学生が履修しているプログラムと同様のものです。

本プログラムを修了するためには、学部学科で指定されている科目とは別に、本プログラムで指定する授業科目の履修と、正課外教育への参加が必要です。

※本プログラムの対象となる授業科目は、卒業要件の単位に組み込むことができます。

●就業力育成特別教育プログラムで社会人として必要な力を身につけよう！

本プログラムでは、1年生からの体系的な教育プログラムを通じて、7つの就業力を育成していくことを目的としています。

本プログラムの対象となる授業科目には、以下のアイコンがついています。



キャリアデザイン力育成コース



グローバル人材育成コース



地域貢献人材育成コース

授業内容の詳細は、シラバスを参照してください。

web版シラバスには、「その他」欄に『この授業は、「就業力育成特別教育プログラム」の履修科目として位置づけられています』の一文が記載されています。

7つの就業力の定義

キャリアデザイン力	将来の生き方や進路・就職に対して、自分に必要な知識や情報を多様な媒体で獲得し、分析・活用する力
リフレクション力	社会問題や関心のあるテーマについて批判的・創造的に考えたり、自分の言動について深く考えたりする力
コミュニケーション力	他者の意見を丁寧に聴き、言語的・非言語的な手段を用いて伝達し、豊かな人間関係を築く力
チームワーク力	集団で物事に取り組む際に、メンバーの立場や意見に配慮しつつ、全体がうまく進むように自らが率先して働きかける力
プレゼンテーション力	自分の意見や主張を「文字・図表」や「口頭」など多様な方法を用いて表現する力
外国語運用力	国際的な視点を養い、自分の意見や主張を外国語によって適切に伝えるとともに、相手と意見交換を行う力
地域貢献力	中山間地など地域固有の課題を的確に理解し、その解決に向けて提案する力

◆ 各コースの紹介

本プログラムは、以下の3コースで構成されています。これらのコースは、それぞれが異なる特徴を持っており、修了要件、履修対象科目が異なります。

- **キャリアデザイン育成コース（3ページへ）**
⇒ 基本的な就業力を身につけたいと考えている人向け
- **グローバル人材育成コース（4ページへ）**
⇒ グローバルな視点、海外貢献マインドを身につけたいと考えている人向け
- **地域貢献人材育成コース（5ページへ）**
⇒ 地域貢献マインドを身につけたいと考えている人向け

◆ 就業力育成特別教育プログラムの履修手続きについて

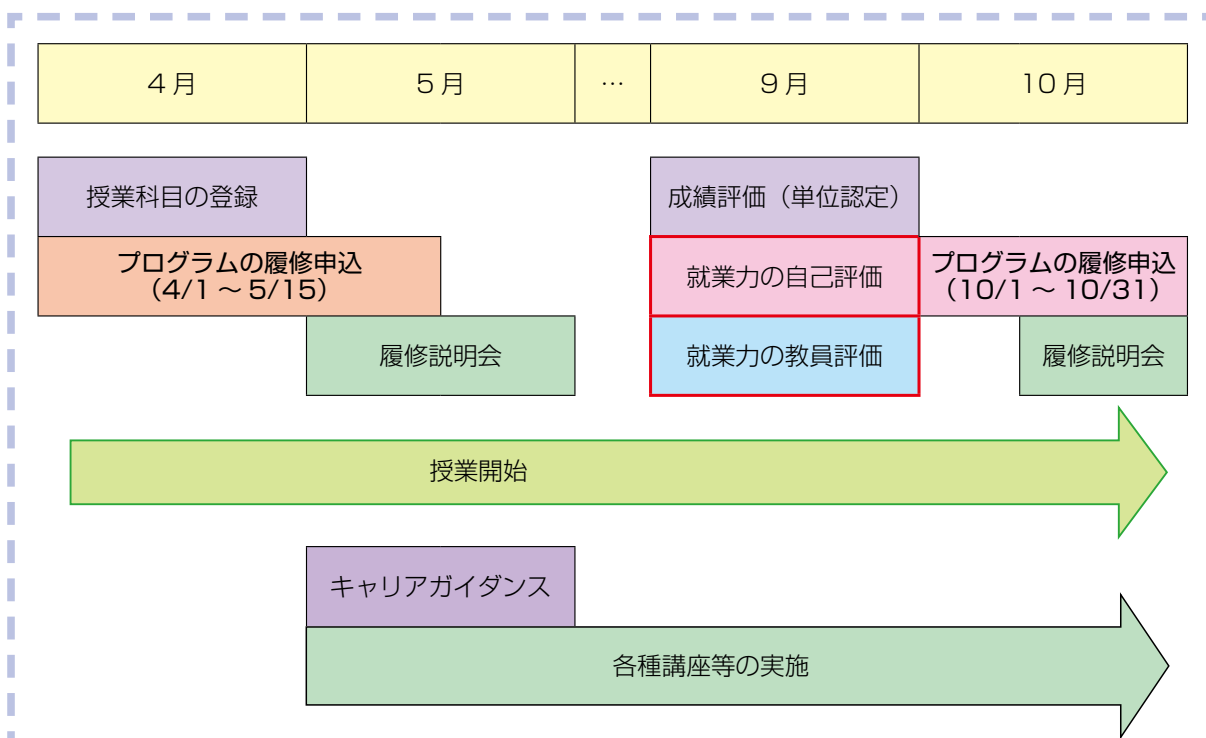
履修申込は、1年生の前期（4/1～5/15）または1年生の後期（10/1～10/31）に、以下のいずれかの方法で手続きを行ってください。

1. 履修申込書（14ページ）を学生支援課（学生支援センター1階）に提出
2. 本プログラムのホームページ（<http://syugyo-s.jn.shimane-u.ac.jp/>）から申込

注意!

本プログラムでは、授業科目『スタートアップセミナー』又は『大学生の就職とキャリア』が選択必修となっています。本プログラムを履修する方は、必ずいずれかを受講してください。

◆ 履修の流れ（1年前期）



注1：プログラムの詳細は、オリエンテーションや履修説明会でも説明します。

注2：就業力の指標評価（赤枠部分）終了後、カウンセラーとの面談の機会があります。

【キャリアデザイン力育成コース】

● 社会人生活に役立つ力を身につけよう！

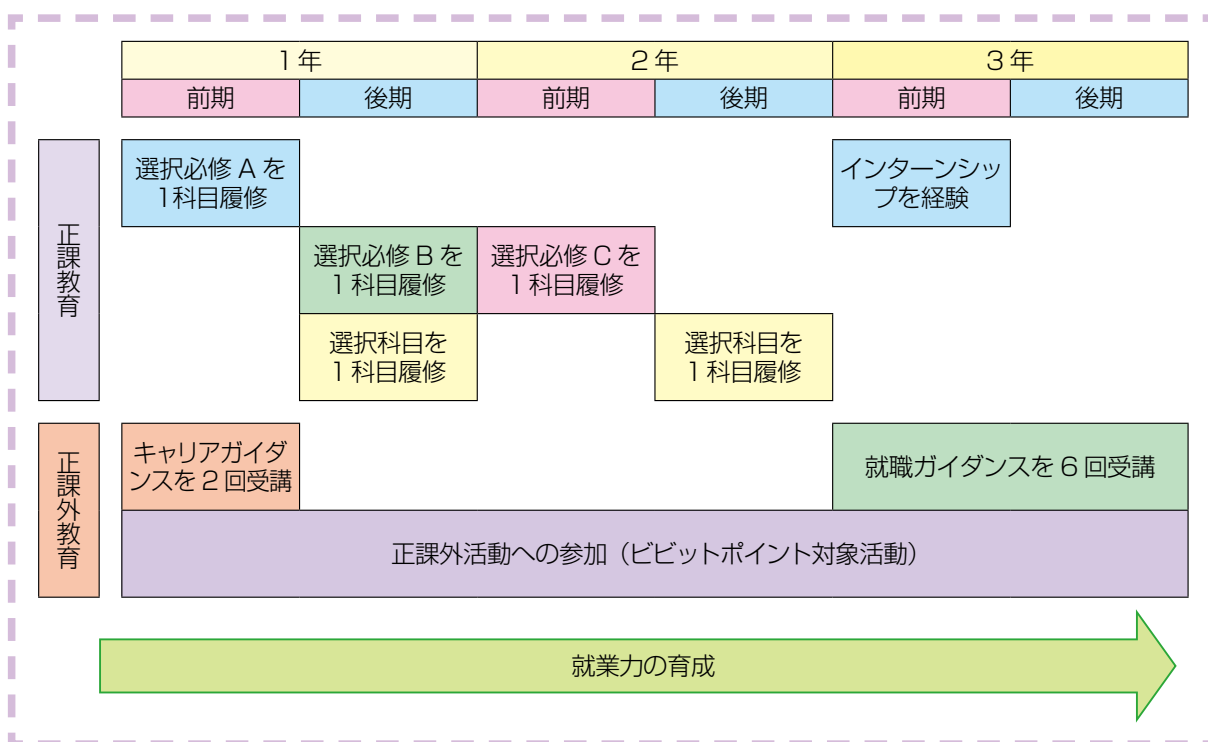
キャリアデザイン力育成コースは、社会人生活に役立つ基礎的な力を身につけることを目的としたコースです。7つの就業力のうち、「キャリアデザイン力」「リフレクション力」「コミュニケーション力」「チームワーク力」「プレゼンテーション力」の5つの力の育成を目的として構成されています。

▶ 修了要件

下記に定める通り、所定の科目の履修と、正課外活動への参加が必要です。

授業科目	正課外教育
<ul style="list-style-type: none"> ●必修科目（1単位） 「インターンシップ」（教育学部は免除） ●選択必修 A（2単位） 2科目のうち1科目を選択 ●選択必修 B（2単位） 2科目のうち1科目を選択 ●選択必修 C（2単位） 2科目のうち1科目を選択 ●選択科目（4単位） 別表1に定める科目から2科目を選択 ※授業科目の詳細は巻末の別表1(11頁)を参照 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアガイダンス（2回） 所定のガイダンスを2回受講すること ●就職ガイダンス（6回） 所定のガイダンスを6回受講すること ※ガイダンスの詳細は6ページを参照 ●ビビットポイント（累計700ポイント） 所定の活動（7ページ参照）に参加し、累計700ポイントを取得すること ※ガイダンスの受講もポイントに加算されます ※入学時に付与されるポイントは含まれません

▶ 履修モデル



【グローバル人材育成コース】

● グローバルな視点を身につけよう！

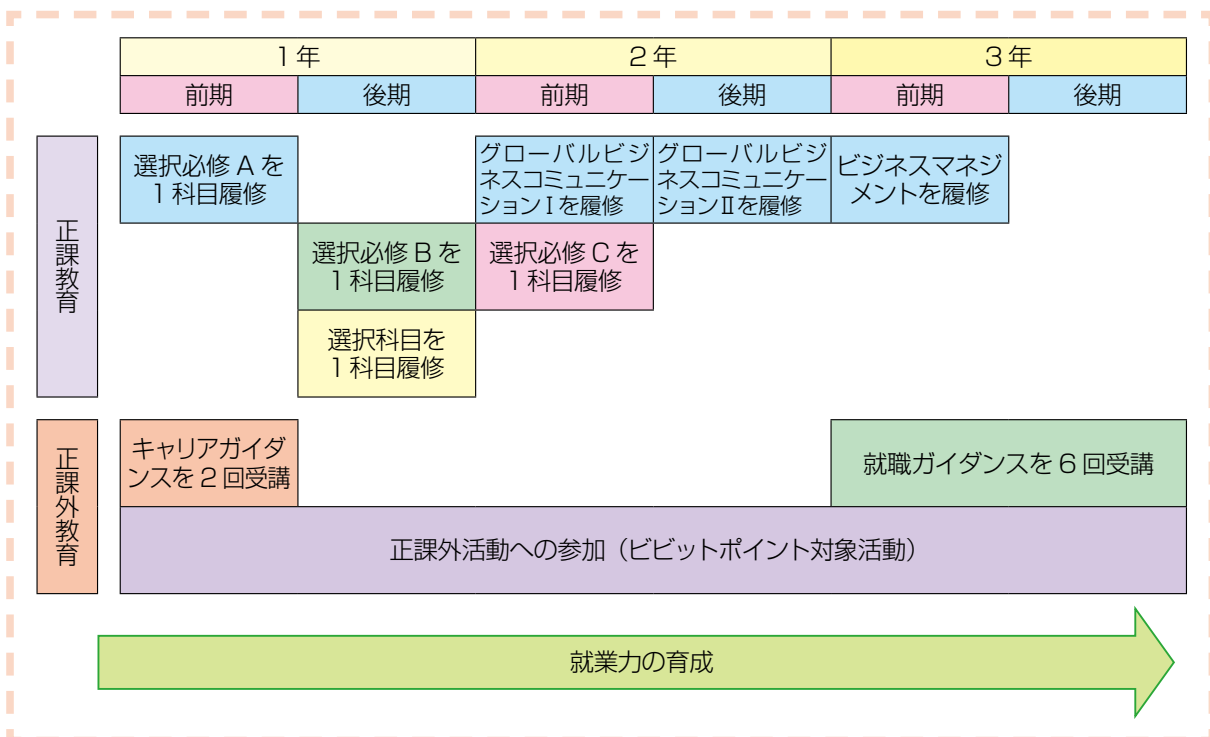
グローバル人材育成コースは、海外貢献マインドを持った人材育成に特化したコースです。7つの就業力のなかでも、特に「外国語運用力」の育成に特化した構成になっています。

▶ 修了要件

下記に定める通り、所定の科目の履修と、正課外活動への参加が必要です。

授業科目	正課外教育
<ul style="list-style-type: none"> ●必修科目 (6 単位) 「ビジネスマネジメント」 「グローバルビジネスコミュニケーションⅠ」 「グローバルビジネスコミュニケーションⅡ」 ●選択必修 A (2 単位) 2 科目のうち 1 科目を選択 ●選択必修 B (2 単位) 2 科目のうち 1 科目を選択 ●選択必修 C (2 単位) 2 科目のうち 1 科目を選択 ●選択科目 (2 単位) 別表 2 に定める科目から 1 科目を選択 ※授業科目の詳細は巻末の別表2(12頁)を参照 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアガイダンス (2 回) 所定のガイダンスを 2 回受講すること ●就職ガイダンス (6 回) 所定のガイダンスを 6 回受講すること ※ガイダンスの詳細は 6 ページを参照 ●ビビットポイント (累計 700 ポイント) 所定の活動 (7 ページ参照) に参加し、累計 700 ポイントを取得すること ※ガイダンスの受講もポイントに加算されます ※入学時に付与されるポイントは含まれません

▶ 履修モデル



【地域貢献人材育成コース】

● 地域に貢献できる力を身につけよう！

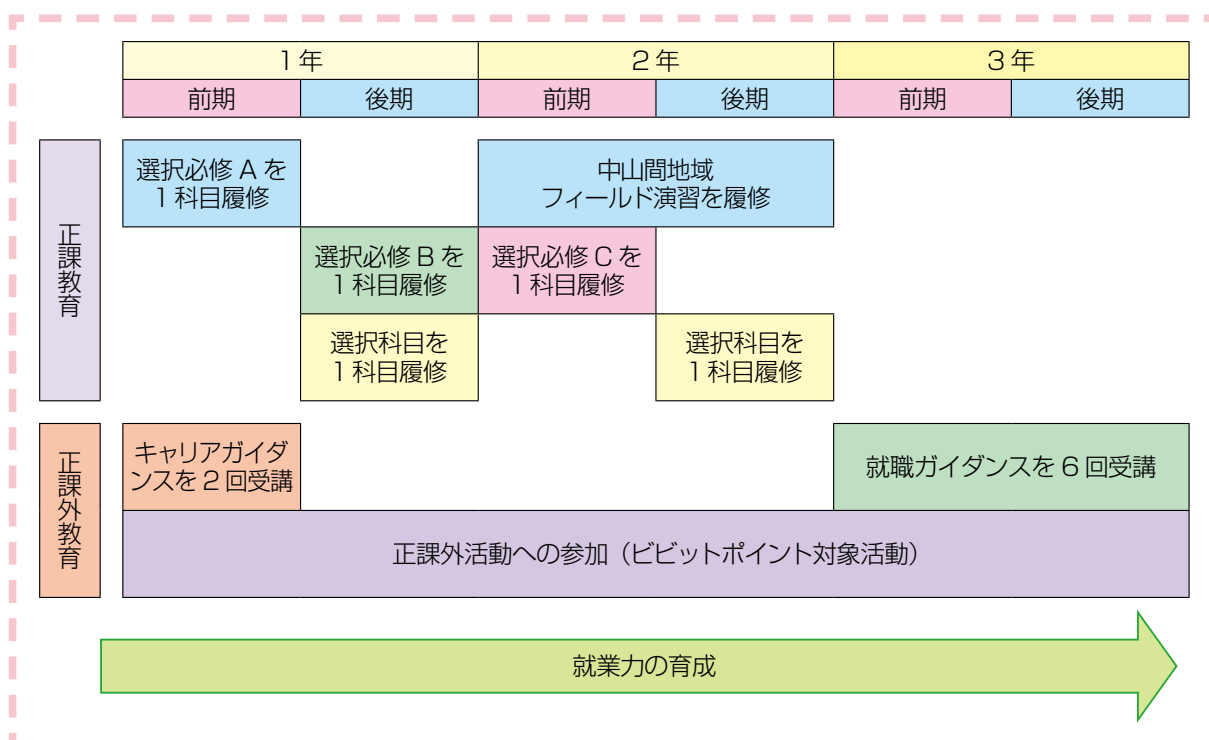
地域貢献人材育成コースは、地域に根ざした人材育成に特化したコースです。7つの就業力のなかでも、特に「地域貢献力」の育成に特化した構成になっています。

▶ 修了要件

下記に定める通り、所定の科目の履修と、正課外活動への参加が必要です。

授業科目	正課外教育
<ul style="list-style-type: none"> ●必修科目（3単位） 「中山間地域フィールド演習」 ●選択必修 A（2単位） 2科目のうち1科目を選択 ●選択必修 B（2単位） 2科目のうち1科目を選択 ●選択必修 C（2単位） 2科目のうち1科目を選択 ●選択科目（4単位） 別表3に定める科目から2科目を選択 ※授業科目の詳細は巻末の別表3(13頁)を参照 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアガイダンス（2回） 所定のガイダンスを2回受講すること ●就職ガイダンス（6回） 所定のガイダンスを6回受講すること ※ガイダンスの詳細は6ページを参照 ●ビビットポイント（累計700ポイント） 所定の活動（7ページ参照）に参加し、累計700ポイントを取得すること ※ガイダンスの受講もポイントに加算されません ※入学時に付与されるポイントは含まれません

▶ 履修モデル



◆ 正課外教育について

▶ キャリアガイダンス・就職ガイダンスについて

本プログラムでは修了要件として、キャリアガイダンス・就職ガイダンスの受講を義務づけています。ガイダンス実施日は、水曜日の午後です。本プログラムを修了するためには、以下の要件を満たす必要があります。

- キャリアガイダンスを2回受講すること
- 就職ガイダンスを6回受講すること

ガイダンスの詳細は、以下の表を参考にしてください。なお、就職ガイダンスについては、「選択」と記載されているものから6つ選択して受講してください。

平成25年度就職（キャリア）ガイダンス予定（平成25年4月1日現在）

□ キャリアガイダンス ■ 就職ガイダンス(選択) □ 就職ガイダンス(自由選択)

必修/ 選択	日 程			対象学年				タ イ ト ル
				学部1年	学部2年	院 1年 学部3年	院 2年 学部4年	
必修	4月	24	水	16:15~17:45	○	○		進路について考え始めよう ～今後の学生生活の過ごし方～
必修	5月	15	水	16:15~17:45	○	○		進路について考え始めよう ～進路選択とは?～
選択		22	水	12:45~14:15			法文教育	就職活動に向けて(学部毎に3回反復実施) (EQ,R-CAPの説明を含む)
選択				14:30~16:00			総理	
選択				16:15~17:45			生資	
				14:30~16:00			○	SPI模試 筆記試験ってどんなもの?
選択		29	水	16:15~17:45		○	○	企業・業界・職種研究の必要性和インターンシップ の効果について
選択	6月	5	水	16:15~17:45			○	就活とは? ~わたしの就活,SNSの活用など~
選択		12	水	16:15~17:45			○	自己分析について
		19	水	14:30~16:00		○	○	EQの解説
				16:15~17:45		○	○	R-CAPの解説
		26	水	16:15~17:45			○	筆記試験(SPI)対策
選択	7月	3	水	16:15~17:45			○	夏季休暇中にしておくべきこと ～自己PRを完成させておこう!～
選択		10	水	14:30~16:00	○	○	○	新聞読んでも?読んだらどうなる? ～新聞から見えてくるもの、情報収集の仕方～
選択				16:15~17:45		○	○	社会に出る心構えとマナーについて (インターンシップ事前指導)
選択		17	水	16:15~17:45			○	内定Getしただけど... ～本当に就職したい会社の選び方～
選択	9月	24	火	16:15~17:45			○	内定式(正式内定10/1)に向けての心構え
選択	10月	9	水	16:15~17:45		○	○	内定を勝ち取った先輩の体験談を聞いてみよう!
選択		23	水	16:15~17:45			○	企業の見方、選び方
選択		30	水	16:15~17:45			○	エントリーシート対策 ~自己PR編~
選択	11月	13	水	16:15~17:45			○	エントリーシート対策 ~志望動機編~
選択		20	水	16:15~17:45			○	採用側は何を見てる!? グループディスカッション、集団面接、個人面接
		27	水	16:15~17:45			○	合同会社説明会の効果的なまわり方 就活キックオフ
選択	12月	4	水	14:30~16:00			○	メイクアップ・着付け、身だしなみ講習
選択				16:15~17:45		○	○	マナー講座
		11	水	12:45~17:45			○	業界&職種研究 Career Meeting 学生企画(企画内容の詳細は後日お知らせします。)
		18	水	12:45~17:45			○	業界研究セミナー&合同企業説明会 学生企画(企画内容の詳細は後日お知らせします。)
	1月	13	月	9:30~17:00			○	島根大学合同会社説明会2015

※上記の日時、場所、内容等は変更になる場合があります。

▶ ビビットポイントについて

島根大学では、自立心やコミュニケーション能力の育成を図るため、**ボランティア活動、サークル活動等の課外活動に対してポイントを付与する独自の制度**を導入しています。そして、このような課外活動も教育の一環として位置づけています。このポイントは、大学のマスコット・キャラクターの名称にちなんで「ビビットポイント」と呼ばれています。

獲得したポイントは、書籍・文房具に交換できるほか、一定条件のもと、授業料の免除にも適用されます。**本プログラムでは、累計 700 ポイントの取得を修了要件としています**（ただし、入学時に付与される 100 ポイントは除きます）。また、ガイダンスの受講もポイントに組み込むことができます。

ポイント対象活動と付与ポイントの詳細については、以下の表を参照してください。

インセンティブ・ポイントの対象となる活動と付与ポイント一覧 (平成25年4月1日現在)

大分類	小分類	正課外活動コード	正課外活動名称	説 明	ポイント獲得に必要なもの	ポイント	単位
ボランティア活動 (学外)	災害・救助	1110	災害支援	国内外の被災地における救援活動	証明書	70	1/時間
		1120	人命救助	火災・事故等での人命救助	新聞記事等	1000	1/回
	医療・福祉	1210	障害者等支援	障害者のための各種支援活動 例：ノートテイク等	証明書	40	1/時間
		1220	福祉施設等支援	介護施設及び障害者施設等での各種支援活動 例：老人ホーム等への慰問	証明書	15	1/時間
		1230	医療施設等支援	医療施設等での支援活動 例：病院ボランティア	証明書	15	1/時間
	教育・文化	1240	献血	献血による医療への貢献	献血手帳	50	1/回
		1310	教育支援活動	学校等教育施設での支援活動 例：運動会の支援（教育学部基礎体験は別途ポイント加算）	証明書	10	1/時間
		1320	学術支援活動	学会、講演会等での支援活動	証明書	10	1/時間
		1330	芸術・文化支援活動	芸術及び文化に関するイベント等への支援活動	証明書	10	1/時間
	地域貢献	1340	スポーツ支援活動	スポーツ大会への支援活動	証明書	10	1/時間
		1410	地域貢献活動	地域の行事等への支援活動 例：地域の安全協力、イベントへの参加協力等	証明書	25	1/時間
		1420	企画・運営支援	自治体等における企画・運営の支援活動	証明書	25	1/時間
		国際貢献	1510	留学生支援	留学生への支援活動	証明書	15
	1520		海外ボランティア活動	外国での各種ボランティア活動	証明書	30	1/時間
ボランティア活動 (学内)	学内支援活動	2110	学内ボランティア活動	学内におけるイベント等への支援活動 例：オープンキャンパスの支援等	当日カード持参	20	1/時間
		2120	国際交流活動	留学生等に対する支援 (チューターとしての生活指導は除く)	当日カード持参	10	1/時間
教育・研究関係	教育・研究活動	3110	資格取得 (国家資格)	各種国家資格の取得 (卒業要件となるものを除く) 例：行政書士	合格通知書等	200	1/資格
		3111	資格取得 (その他)	国家資格以外の各種資格の取得 例：秘書検定	合格通知書等	100	1/資格
		3120	研究発表	学会等での研究発表	パンフレット等	100	1/回
		3130	教育協力	学内での学生参加のセミナー等の司会者等	当日カード持参	30	1/時間
		3140	教育・研究協力	アンケート等への協力 (全学または学部を対象とするものに限る)	名簿により登録	10	1/回
学内活動	学内活動	3150	企画・運営支援	学内における企画・運営の支援活動	証明書	20	1/時間
		4110	委員長 (学内行事)	学生生活推進会、校友会、大学祭実行委員会の代表者	役員名簿により登録	500	1/年
		4120	役員 (学内行事)	学生生活推進会、校友会、大学祭実行委員会の役員	名簿により登録	200	1/年
		4130	学生委員	大学の企画・運営に関する各種委員会委員等 例：EMS委員	名簿により登録	200	1/年
		4140	サークル代表	各サークルの代表である部長等 (複数サークルのカウントはしない)	名簿により登録	100	1/年
		4150	サークル活動	各サークルの部員 (複数サークルのカウントはしない)	名簿により登録	50	1/年
各種活動の優秀者	各種活動の優秀者	4160	セミナー・ガイダンス等参加	セミナー、ガイダンス等に参加 (単位認定されるものを除く)	出欠表、当日カード持参	30	1/時間
		5110	サークル活動成績優秀者 (全国)	全国大会での入賞者	新聞記事、表彰状等	300	1/回
		5120	課外活動成績優秀者 (西日本)	西日本地区を対象とした大会での入賞者	新聞記事、表彰状等	200	1/回
		5130	課外活動成績優秀者 (中国地区)	中国地区を対象とした大会での入賞者	大会成績の証明等	100	1/回
学内表彰者	学長、学部長表彰	5140	その他優秀者	上記以外で特に優秀な活動をした者	新聞記事等	別途加算	1/回
		6110	学術、研究面での学内表彰者	学内において、表彰規定により表彰された者又は学部等で研究面の活躍等を表彰された者	学長表彰該当者及び学部からの表彰者報告	200	1/回
教育学部 1000 時間体験学修	1000 時間体験学修	7110	基礎体験実習分 (必修を除く)	教育学部 1000 時間体験に関するもの (教育学部基礎体験台帳より分類)	教育学部から時間データの一括報告	3	1/時間
入学時ポイント	入学	9100	入学	新入生全員にポイントを進呈		100	1回

※原則として謝礼が支払われるものは除きます。

◆ その他の特徴

▶ キャリアカウンセリング

本プログラムではプログラム履修生に対して、キャリアカウンセリングによるフォローアップを行っています。学修への取り組みや就業力の修得度を振り返りながら、就業力向上のためのアドバイスをを行います。

▶ キャリアノート

本プログラムでは、プログラム履修生に対してキャリアノートを配布しています。キャリアノートとは、就業力の修得度や学修成果、正課外活動の記録などを保管するファイル（ポートフォリオ）です。キャリアノートに様々な学修記録を保管することにより、正課教育・正課外教育における学修を通しての成長を再確認することができます。

キャリアノートに保管した記録は、就職活動時の自己分析や、キャリアカウンセリングなどに活用することができます。



▶ 各種講座

本プログラムでは、就業力向上のための取り組みとして、スキルアップのための各種講座を開催します。

これらの講座は、正課外教育の一環として実施するものであり、社会人生活で役立つ様々なスキルを身につけることを目的としています。プログラム履修生であれば、誰でも気軽に受講することができます。



◆ 修了証明書

各コースにおける修了要件を満たした方には、修了証明書が授与されます。これは、島根大学で一定水準のキャリア教育プログラムを修了したということを示す証明書です。就職活動の際に、履歴書等に記載することができます。

3年前期終了後、所定の手続に従い、修了見込証明書が交付されます。

◆ 就業力の修得度評価について

本プログラムでは、対象科目における7つの就業力の修得度について、視覚的に確認することができるようになっています。単位認定などとは別に、就業力の修得度に対する教員評価・自己評価の結果が確認できます。修得度は、レーダーチャート・積み上げ式棒グラフで表示されます。

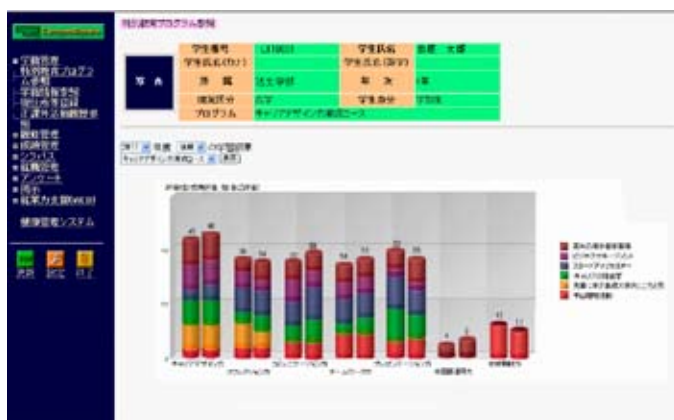
対象科目を通じて、どのような就業力を身につけることができるのかについては、各コースの別表を参照してください(巻末に記載)。別表のカリキュラム・チェックリストに、修得可能な就業力が3段階で評定されています。

▶ 就業力の修得状況(例)



半期ごとに、就業力の修得度が評価されます。

教員評価と自己評価のそれぞれについて、7つの力ごとの就業力の修得度を平均化した値を算出します。そして、これらの結果を半期における学修効果として、レーダーチャートで表示されます。



就業力の修得度は、積み上げ式の棒グラフからも確認することができます。

評価対象となる科目には、それぞれ3段階での重みづけがされています。教員評価と自己評価に重みづけ得点を掛け合わせた得点が、就業力の修得度として加算されています。

◆ Q&A 知っておきたいことに答えます

▶ 就業力プログラムを履修するメリットは何ですか？

本プログラムは、主体的なキャリア選択と、社会人生活に役立つ基礎的な力の育成を支援するものです。就職斡旋とは異なるため、必ずしも就職が保証されるものではありません。就職に関しては、本学キャリアセンターが全力でサポートします。

プログラム履修者には修了（見込）証明書が発行されますので、就職活動に役立てることができます。

▶ 就業力プログラムの対象学部について教えてください

本プログラムは、松江キャンパスの学生を対象に実施するものです。よって、医学部を除く、法文学部、教育学部、総合理工学部、生物資源科学部が対象となります。

▶ 就業力プログラムの履修申込はいつ行うのでしょうか？

申込期間は1年前期（4/1～5/15）と1年後期（10/1～10/31）のいずれかです。不明な点などありましたら、キャリアセンターに相談してください。

▶ 受講途中でのコース変更又は中止は可能ですか？

キャリアセンターに相談してください。

▶ 複数コースの選択は可能ですか？

選択は可能ですが、それぞれのコースの修了要件を満たさなければならないため、本プログラムにおける負担が増えることになります。学部学科の専攻の妨げとならないよう、良く考えた上で決めてください。

▶ 履修モデルのとおり履修しなければならないのですか？

履修モデルは、履修の流れを参考に示したものです。必ずしも履修モデルの通りに授業を受けなければならないということではありません。対象科目の開講年次に注意して、計画的に履修してください。

▶ プログラム対象科目の単位は、卒業要件に必要な単位数に含まれるのでしょうか？

対象科目は、卒業要件に必要な単位数に組み込むことができます。しかし、履修方法によっては、卒業要件に必要な単位数よりも多く履修することがあります。履修登録の際によく確認してください。

▶ 後期に申込みをした場合、前期に履修した科目の取扱いはどうなりますか？

前期に履修した科目については、各コースの修了要件の対象外となりますので、それ以外の科目を履修してください。ただし、「スタートアップセミナー」と正課外活動のポイントは、修了要件に含まれます。

別表1 H25年度 キャリアデザイン能力育成コース履修対象科目

教養育成科目

選択/必修	科目分類	科目名	単位数	履修年次	学期	備考	キャリアデザインカ	リフレクシヨ	コミュニケシ	チームワーク	プレゼンテーシ	外国語運用力	地域貢献力	
選択必修 A	入門科目	スタートアップセミナーA	2	1	前期	いずれか1科目のみ履修可		◎	◎	◎	◎			
		スタートアップセミナーB	2	1	前期				◎	◎	◎	◎		
選択必修 B	社会人力養成科目	大学生の就職とキャリア	2	1. 2. 3	後期		○	○	○	○	○			
		キャリアの心理学	2	1. 2. 3. 4	後期		○	○	○	○	○			
選択必修 C	発展科目	キャリアの社会学	2	1. 2. 3. 4	後期		○	○	○	○	○			
		人と職業	2	2. 3. 4	前期		◎	◎	○	△	△			
選 択	発展科目	キャリアデザイン	2	2. 3. 4	後期		◎	◎	○	△	△			
		先輩に学ぶ島根大学のこころと形	2	1. 2. 3. 4	前期		○	○	△	△	△			
		ビジネスマナジメント	2	2. 3. 4	前期			○	◎	◎	△			
		実例中小企業経営論	2	1. 2. 3. 4	後期			○	○	○	○		○	
		自然環境論	2	1. 2. 3. 4	後期					△	○	◎		
		山陰の自然史	2	1. 2. 3. 4	前期					△	○	◎		
		汽水域船上調査法実習	2	3. 4	前期					○	△	◎		
		小説という楽しみ	2	1. 2. 3. 4	後期					◎	◎	○		
		人間と教育	2	3. 4	前期					◎	◎	◎		
		島大コミュニケーション学	2	1	後期			△	△					◎
専 門 科 目	発展科目	汽水域の科学 (入門編)	2	1. 2. 3. 4	前期			○	△				◎	
		汽水域の科学 (応用編)	2	2. 3. 4	後期			○	△				◎	
		環境問題通論 A	2	1	前期			◎	◎	△				
		環境問題通論 B	2	2. 3. 4	後期			◎	◎	△				
必 修	専門科目	島根学	2	1. 2. 3. 4	後期			◎	◎				◎	
		就業体験	1	2. 3. 4										
		就業体験	1	3. 4										
		就業体験	1	3. 4										
		就業体験	1	2. 3										
就業体験	1	2. 3. 4												

専門科目

選択/必修	科目分類	科目名	単位数	履修年次	学期	備考	キャリアデザインカ	リフレクシヨ	コミュニケシ	チームワーク	プレゼンテーシ	外国語運用力	地域貢献力	
必 修	専門科目	就業体験	1	2. 3. 4		法文学部								
		就業体験	1	3. 4		総合理工学部物質科学科 総合理工学部数理・情報システム学科 総合理工学部電子制御システム工学科								
		就業体験	1	3. 4		総合理工学部地球資源環境学科								
		就業体験	1	2. 3		総合理工学部材料プロセス工学科								
		就業体験	1	2. 3. 4		生物資源科学部								

注1: カリキュラム・チェックリストの「◎」「○」「△」は、対象科目で身につけることのできる力を3段階で示しています。「◎」が最大値

カリキュラム・チェックリスト

就業体験先により異なる (就業体験先による事後判断)

別表2 H25年度 グローバル人材育成コース履修対象科目

カリキュラム・チェックリスト

教育成科目	科目区分	科目名	単位数	履修年次	学期	備考	キャリアデザインカ	リフレクションカ	コミュニケーションカ	チームワークカ	プレゼンテーションカ	外国語運用カ	地域貢献カ	
選択/必修 A	入門科目	スタートアップセミナーA	2	1	前期	いずれか1科目のみ履修可		◎	◎	◎	◎			
		スタートアップセミナーB	2	1	前期			◎	◎	◎	◎			
必修	社会人力養成科目	大学生の就職とキャリア	2	1. 2. 3	後期		○	○	○	○	○			
		ビジネスマネジメント	2	2. 3. 4	前期			○	○	○	○	△		
必修	発展科目	グローバルビジネスコミュニケーションI	2	1. 2. 3. 4	前期	英語 IA, 英語 IB, 英語 II A, 英語 II B 計4単位既修者対象または、TOEIC (Pを含む)500点以上の者を対象		△	○	○	△	◎		
		グローバルビジネスコミュニケーションII	2	1. 2. 3. 4	後期				△	○	○	△	◎	
選択必修 B	発展科目	キャリアの心理学	2	1. 2. 3. 4	後期		○	○	○	◎	◎			
		キャリアの社会学	2	1. 2. 3. 4	後期		○	○	○	◎	◎			
選択必修 C	発展科目	人と職業	2	2. 3. 4	前期		◎	◎	○	○	△			
		キャリアデザイン	2	2. 3. 4	後期		◎	◎	○	○	△			
選択	発展科目	国際文化情報A (英語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期	英語 IA, 英語 IB, 英語 II A, 英語 II B 計4単位既修者対象 または、TOEIC (Pを含む)500点以上の者を対象(隔年開講) ドイツ語 I, ドイツ語 II 計4単位既修者対象 (隔年開講) フランス語 I, フランス語 II 計4単位既修者対象 (隔年開講) 中国語 I, 中国語 II 計4単位既修者対象 (隔年開講) 韓国・朝鮮語 I, 韓国・朝鮮語 II 計4単位既修者対象 (隔年開講) 英語 IA, 英語 IB, 英語 II A, 英語 II B 計4単位既修者対象または、TOEIC (Pを含む)500点以上の者を対象		△	○	○	◎	◎		
		国際文化情報B (英語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期				△	○	○	◎	◎	
		国際文化情報C (英語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期				△	○	○	◎	◎	
		国際文化情報D (英語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期				△	○	○	◎	◎	
		国際文化情報A (ドイツ語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎	
		国際文化情報B (ドイツ語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎	
		国際文化情報C (ドイツ語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎	
		国際文化情報D (ドイツ語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎	
		国際文化情報A (フランス語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎	
		国際文化情報B (フランス語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎	
		国際文化情報C (フランス語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎	
		国際文化情報D (フランス語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎	
		国際文化情報A (中国語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎	
		国際文化情報B (中国語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎	
		国際文化情報C (中国語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎	
		国際文化情報D (中国語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎	
国際文化情報A (韓国・朝鮮語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期				○	○	○	◎				
国際文化情報B (韓国・朝鮮語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期				○	○	○	◎				
国際文化情報C (韓国・朝鮮語圏)	2	1. 2. 3. 4	前期				○	○	○	◎				
国際文化情報D (韓国・朝鮮語圏)	2	1. 2. 3. 4	後期				○	○	○	◎				
異文化コミュニケーション入門A	2	1. 2. 3. 4	前期				△	○	○	△	◎			
異文化コミュニケーション入門B	2	1. 2. 3. 4	後期				△	○	○	△	◎			
留学のための英語による教養基礎(理系文系別)	2	1. 2. 3. 4	後期				△	○	○	○	◎			
英語海外研修 A	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎			
英語海外研修 B	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎			
英語海外研修 C	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎			
英語海外研修 D	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎			
英語海外研修 E	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎			
英語海外研修 F	2	1. 2. 3. 4	後期					○	○	○	◎			
英語海外研修 G	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	◎			
欧米の現代留学事情	2	1. 2. 3. 4	前期				◎	○	○	○	◎			
中国の歴史と文化	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	△			
韓国の文化と風土	2	1. 2. 3. 4	前期					○	○	○	△			

注1：カリキュラム・チェックリストの「◎」「○」「△」は、対象科目で身につけることのできる力を3段階で示しています。「◎」が最大値)

別表3 H25年度 地域貢献人材育成コース履修対象科目

カリキュラム・チェックリスト

教養育成科目

選択/必修	科目区分	科目名	単位数	履修年次	学期	備考	キャリアデザイン力	リフレクション力	コミュニケーション力	チームワーク力	プレゼンテーション力	外国語運用力	地域貢献力	
選択必修A	入門科目	スタートアップセミナーA	2	1	前期	いずれか1科目のみ履修可		◎	◎	◎	◎			
		スタートアップセミナーB	2	1	前期			◎	◎	◎	◎			
必修	社会人力養成科目	大学生の就職とキャリア	2	1. 2. 3	後期		○	○	○	○	○			
		中山間地域フィールド演習	3	2. 3. 4	通年			○	◎	◎	△		◎	
選択必修B	発展科目	キャリアの心理学	2	1. 2. 3. 4	後期		○	○	◎	◎	◎			
		キャリアの社会学	2	1. 2. 3. 4	後期		○	○	◎	◎	◎			
選択必修C	発展科目	人と職業	2	2. 3. 4	前期		◎	◎	○		△			
		キャリアデザイン	2	2. 3. 4	後期		◎	◎	○		△			
選択	入門科目	先輩に学ぶ島根大学のこころと形	2	1. 2. 3. 4	前期		○	○	△		△			
		国際化のなかの地域経済	2	1. 2. 3. 4	後期			◎					○	
		実例中小企業経営論	2	1. 2. 3. 4	後期				○					○
		自然環境論	2	1. 2. 3. 4	後期					△	○	◎		
		山陰の自然史	2	1. 2. 3. 4	前期					△	○	◎		
		汽水域船上調査法実習	2	3. 4	前期					○	△	◎		
		小説という楽しみ	2	1. 2. 3. 4	後期					◎		○		
		人間と教育	2	3. 4	前期				◎	◎		◎		
		島大ミュージアム学	2	1	後期			△	△					◎
		汽水域の科学 (入門編)	2	1. 2. 3. 4	前期				○	△				◎
		汽水域の科学 (応用編)	2	2. 3. 4	後期				○	△				◎
		発展科目	環境問題通論 A	環境問題通論 A	2	1	前期	いずれか1科目のみ履修可	◎	◎	△			
環境問題通論 B	2			2. 3. 4	後期	◎	◎		△					
島根学	島根学		2	1. 2. 3. 4	後期				◎				◎	
	たたらと現代製鋼		2	3. 4	通年				◎	◎			○	
情報と地域	情報と地域		2	3. 4	前期							○	◎	
	むら興し・まち興し		2	3. 4	後期				○				◎	
酒	酒		2	3. 4	後期				○				◎	
	情報セキュリティ		2	1. 2. 3. 4	後期				○	○				△
フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	地域づくり		2	2. 3. 4	後期			○	◎	◎	◎		◎	
	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」		2	1. 2. 3. 4	前期				△			△		◎

注1：カリキュラム・チェックリストの「◎」「○」「△」は、対象科目で身につけることのできる力を3段階で示しています。「◎」が最大値)

就業力特別教育プログラム履修申込書

※左のキリトリ線で切り離した上で、学生支援課（学生支援センター 1 階）に提出してください。

所属： _____ 学部 _____ 学科（課程）

学生番号： _____ 性別： _____

氏名： _____

【連絡先】

〒 _____
住所： _____

TEL： _____

E-mail： _____

【希望するコース名】（希望するコースにチェックを入れてください。）

- ：キャリアデザイン力育成コース
- ：グローバル人材育成コース
- ：地域貢献人材育成コース

【コース希望理由】

【個人情報の保護】

本申込書に記載された個人情報は、鳥根大学個人情報保護ポリシーに基づき、プログラム履修者への連絡・指導等、運用上必要な目的以外で使用することはありません。第三者にこれらの個人情報を提供することは一切ありません。

履修生の声

プログラムの履修をしている学生に希望理由を聞いてみました

キャリアデザイン力育成コース

生物資源科学部 H23 年度入学 (男子)

このプログラムの学習を通して、自分に足りない力（特にコミュニケーション力とプレゼンテーション力等）を伸ばし、将来の社会人生活に役立てたいと考えたため。

法文学部 H24 年度入学 (女子)

私はまだ希望する職業や進路が決まっていないので、このコースでの様々な経験を通して、自分の進路選択を進めたいと思ったから。

法文学部 24 年度入学 (女子)

将来、社会人として仕事をしていくために、必要な基礎的な力やマナーなどを今から学んでおきたいと思ったから。この受講を通してもっと自分の視野を広げていきたいです。

生物資源科学部 H24 年度入学 (女子)

自分から問題を見つけ出し解決していく力や、自分を向上させる力、また論理立てて人に説明する力が自分には足りないと思い、社会人になるまでにそのような力をつけたかったから

総合理工学部 H24 年度入学 (男子)

第三者の立場から自分を評価してもらえるから。

グローバル人材育成コース

法文学部 H23 年度入学 (女子)

国際化が進む社会の中で、国際問題や自他国の文化を知るとともに、外国の人々とより親密にコミュニケーションをとれるようになりたいです。
そして、将来国内外で様々な貢献ができるようになりたいと思ったから。

法文学部 H24 年度入学 (女子)

現在、多くの企業では社内公用語が英語になったり、海外派遣や海外から移動してきた社員などの交流なども頻繁に行われたりしているため、大学生から就職するための力、就職してから必要になる技術を身につけると共に、グローバル社会に適応するための力や技術も身につける必要があると考えたため。

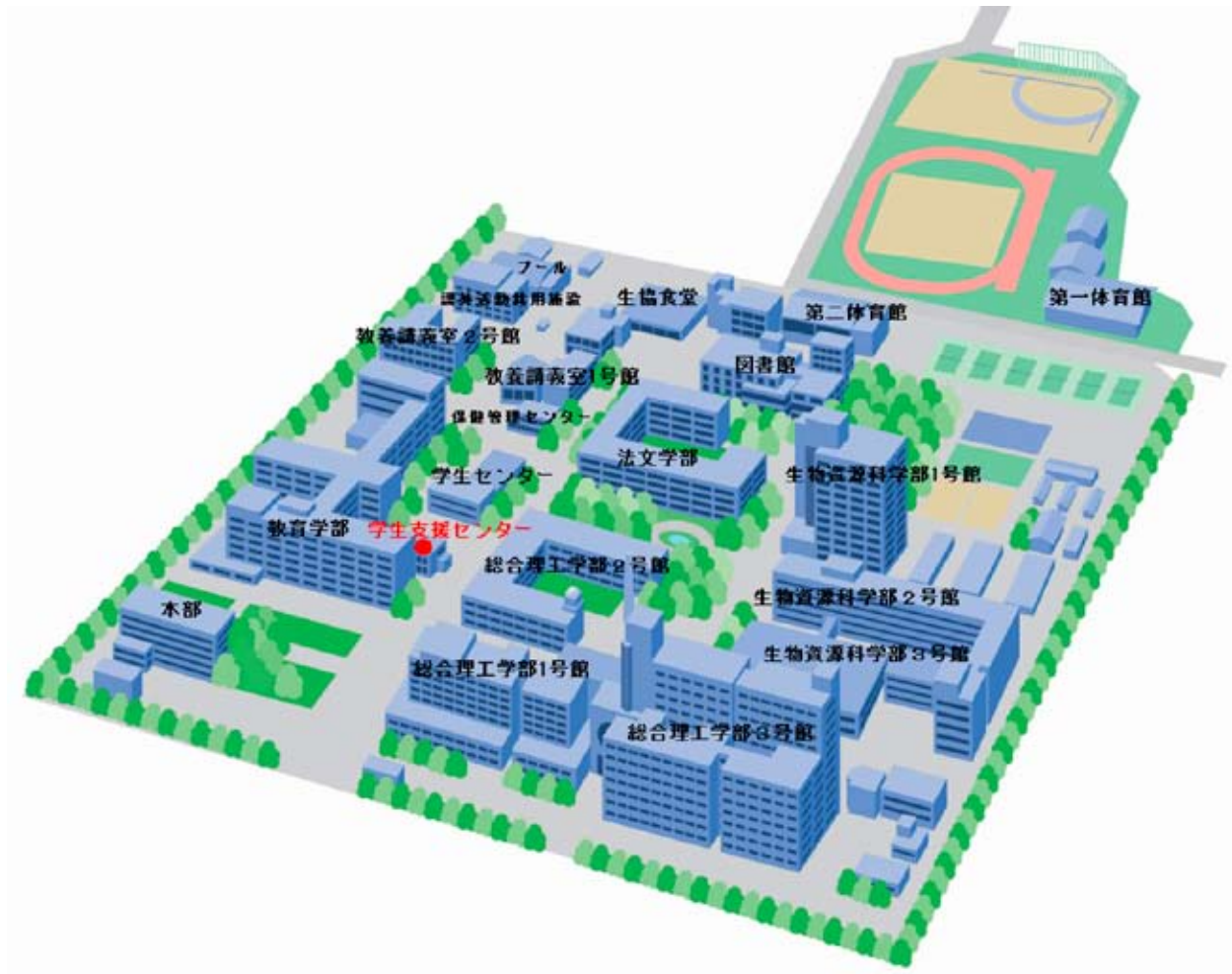
地域貢献人材育成コース

教育学部 H23 年度入学 (女子)

これまで住んできた島根で働くことで、地域の人々に貢献し、また、地域のことをもっとよく知ることで、地域の人だけでなく県外の方にも島根のよいところを PR できるような存在になりたいから。

生物資源科学部 H24 年度入学 (男子)

最近、農村地域では高齢化や少子化などが原因で活気がなくなり衰退しているということをよく耳にします。実際自分が住んでいた地域もそうでした。将来このような地域の村おこしや町おこしの役に立つような人材になりたいから希望しました。



問い合わせ先

島根大学キャリアセンター（学生支援センター1階）

TEL：0852-32-6054

E-mail：syugp@jn.shimane-u.ac.jp

発行：島根大学就業力プロジェクト事務局（教育・学生支援部学生支援課）

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060

TEL：0852-32-6054

E-mail：syugp@jn.shimane-u.ac.jp

ホームページ（キャリアセンター）：<http://career.shimane-u.ac.jp/>

ホームページ（就業力育成支援プロジェクト）：<http://syugyo-s.jn.shimane-u.ac.jp/>